

# 麦の穂

第38号 2010年11月

題字

NPO法人麦の会



〒983-0834 仙台市宮城野区松岡町17-1 TEL・FAX(022)

E-mail: muginokai@k5.dion.ne.jp

http://www.web-i.ne.jp/aaa0098

299-1279

第27回NPO法人共同連全国大会宮城大会、無事終了！

ありがとうございました！

宮城大会実行委員会事務局長 飯嶋 茂

2009年11月に実行委員会を立ち上げてから、月1回の実行委員会と事務局会・担当に分かれての話し合い・打ち合わせ等を行い、準備を進めてきました。

実行委員会には、10を超える団体が参加し、会議には毎回20名以上の人が参加しました。「共に働く」「共に稼ぐ」ということへの興味、「社会的事業所」への関心等、参加の動機はそれぞれでした。

実行委員会は、これまで共同連大会へ参加したことがある個人・団体はわずかで、大会テーマ・大会案内文を検討する中で、共同連ってなにということを理解してもらいながらすすめました。

大会の内容では、メインのシンポジウムをどうするかで、ずいぶん議論しました。今思えば、これが決まるまでが一番大変だったかもしれません。映画も上映権の問題で、最後の最後まで、本当にやれるのかどうか不安がつきまどっていました。

共同連から示された大会までのタイムスケジュールを横目に見ながら、準備を進めましたが、最後のほうは何かしら忘れていたことがあるのではないかという不安につきまどわれました。それでも、各分科会・おたのしみ企画とも各担当の人がそれぞれに動いてくれておおいに助かりました。

大会準備の最後の関門は原稿集め。8月末開催の大会の弱点は、お盆の時期と校正が重なることでしょうか。他の人はもうお盆休みに入ろうとする

中、事務局二人で、集まってきた原稿に目を通しました。

おかげさまで当日は、全国から700名を超える人が集まり、大会は無事終了しました。

実行委員会の事務局長という立場上、大会中は裏方に徹していたため、大会の中身はほとんど聞くことはできなかったわけですが、それぞれシンポジウム・分科会に参加した人のお話しやアンケートを見る限り、おおむね内容も好評だったように思います。交流会・お弁当も、満足いただけたのではないのでしょうか。

コッペからも20名ほどで（ほぼ全員だ）参加し、交流会では、グループパフォーマンスに出演しました。演目はスリラー、まいけるヒロキ・王様アキノリを中心に、大活躍でした。

地元実行委員会としては、最初に書いたとおり、宮城においてはそもそも共同連を知らない個人・団体が多かったわけですから、まずは共同連の名称・考え方を広めることができたことが、地元での大きな成果だと思います。

もちろん、「だいぶ理解できたところもあるけど、まだまだわからなところがある」という意見もあります。社会的事業所の理解・実践に関しても、宮城ではまだまだこれからです。これらについては、今回の実行委員会を通してできたつながりをいかして、今後も活動していきたいと思っています。

多くの人からご苦労さんだったね、準備大変だったでしょうと言われてました。確かに大変でしたが、消耗する大変さではなく、楽しさのほうがまさっていたでしょうか。大会後の打ち上げも大いに盛り上がりました。

長年仙台で大会をやってくれと言われつづけていましたが、そのたび断り続けてきました。しかし、長年断り続けてきたおかげで、その間にコッペとしても宮城でのつながりが広まり、また、共同連の運動の広がりもあって、今回の大会が盛大にできたと思います。

個人的には、コッペができてから色々とお世話になってきた共同連に、恩返しのできた思いがしています。

皆さん、ご協力ありがとうございました。

## 「生きることがわたしの仕事です」

カトリック正義と平和仙台協議会 渡辺清

コッペの友人から、「会員になったんだから、コッペの総会に出なさい」といわれ、おそろおそろ、参加した。

総会は、飯嶋茂さんの司会進行でスムーズに進んだが、事業会計の件で騒ぎのところで紛糾した。コッペは「障害をもつひと、そうでないひと、ともに働く職場づくり」が理念であるようだ。そういうなかにあつて、クッキーを作るひとがいれば、それができないひともある。それなのに同じ賃金であるのはおかしいのではないか。働き方によって賃金差が出るのは当然のことではないか、という意見が出た。それに対して、飯嶋さんから「生産ということではそういう話になるかもしれないが、コッペ全体で考えると、ひとりひとりの働き方があるのではないか」という説明があつた。

その時、ひとりのお母さんが「私の息子は生きている人間です」と発言された。息子である彼がコッペに通い、コッペでどのような働き方をしているのか、わたしは知らない。以前は、毎週火曜日に自宅からコッペまで車で送っていたが、彼がいったい何を言っているのか、お母さんの通訳なしには理解できずにいた。でも、彼のことがわたしは好きだ。たぶん、彼も？

賃金の問題については、総会の後日に話し合いがあり、コッペの理念の方向で結着したと聞き、安堵した。

これから、コッペのパンとクッキーがもっともつと売れて、コッペに集うひとたちの賃金がアップするように願わずにはいられない。

それから、しばらくして、また、その友人から、共同連全国大会の手伝いをするようにと言われて、一日だけ、分科会の手伝いをした（支給された、作業所弁当はおいしかった！）。受付の仕事を終えて、分科会に参加した時は、盛岡市から発題者としてこられた方が活動の報告をしているところだった。24時間、介護なしには生活できないが、施設でくらすこと

よりも、サービスを受けながら、アパート暮らしをして地域のひとたちとつながっていきたい。そういう運動をしている、すごい内容の話だった。最後に、彼女はほがらかに言う。「生きることがわたしの仕事です」。

まとまりのない文章を、次の新聞記事を紹介して、終わりにしたい。

「障害のある人たちのありようは社会を映す鏡だ。彼らを片隅に追いやる社会は、もろく、貧しい。困難におしつぶされず、人生をきりひらき、社会を変革しようとする人々がいる。たずね歩きながら、私は思った。生きるって、なんだろう？」(生井久美子)



共同連大会に参加された皆さんの声。です。



タイトル 共同連大会に参加して

私	は、	今	回	の	共	同	連	大	会	に	参	加	で
き	て、	と	と	も	楽	し	か	っ	た	で	す。	シ	
ン	ホ	ジ	ウ	ム	で	は、	い	ろ	ん	な	話	を	い
っ	ば	い	開	い	た	の	で、	少	し	つ	か	れ	て
し	ま	い	ま	し	た。	交	流	会	で、	私	達	の	
手	ー	ム	は、	マ	イ	ケ	ル	・	ジ	ヤ	ク	ソ	ン
の	ス	リ	ラ	リ	と	い	う	曲	を	お	て	り	ま
た。	2	日	目	の	文	科	会	も、	と	と	も	楽	
し	か	っ	た	で	す。								

宮城

都道府県

所属(会) 麦の会 コツパ  
名前(明) 石 込 白 子









タイトル「これから」

人	に	と	読	中	は	け	し	社
あ	は	っ	ん	で	い	た	い	会
る	、	て	た	の	い	任	言	的
よ	今	は	。何	大	い	事	葉	事
う	よ	は	の	会	と	場	。1	業
に	り	、	身	出	初	(	5	所
思	も	法	分	席	め	作	才	、
え	良	制	保	。水	て	業	よ	私
て	い	化	障	が	拒	所	り	に
は	事	さ	の	み	否	に	1	と
ら	が	れ	い	の	し	下	行	っ
い	、	た	娘	特	た	き	た	て
。	た	あ	に	集	く	た	く	は
	く	か		を				新
	す	つ						
	す	子						

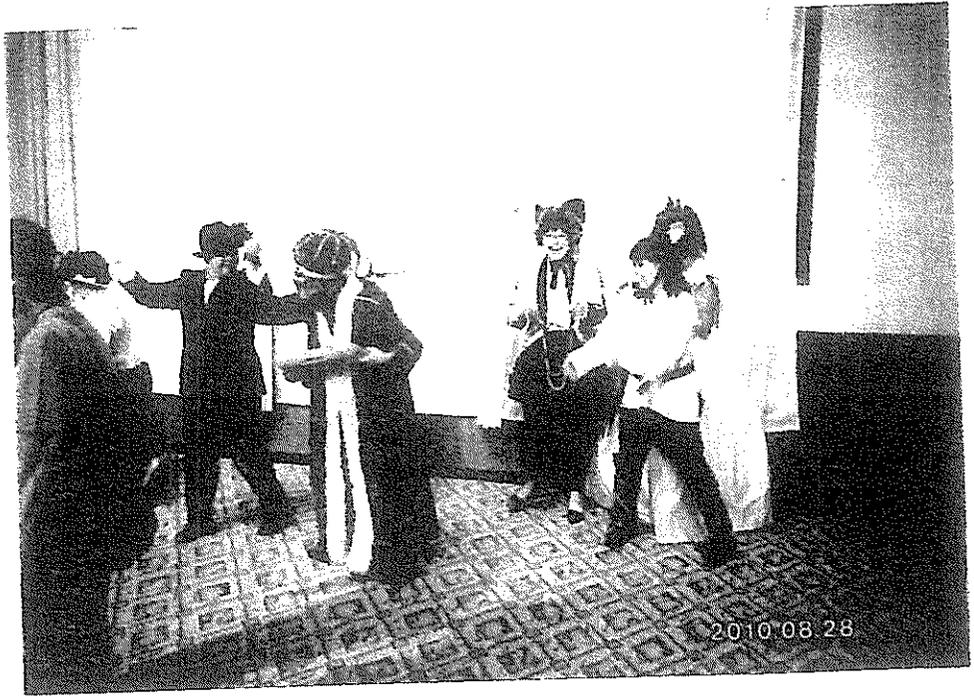
（広島） 都道府県

所屬（妻の会 コフヘ）  
名前（木村 敏子）

待ちに待った共同連大会のカーン  
 オケ大会です。他の人も沃山いま  
 した。他の人の歌も聞いてました  
 だんだん順番が近くなってきた  
 緊張して来ました。ドキドキしな  
 がら待っていました。前に出る時に  
 おまじないをしました。そしたら  
 みんなの前で、堂々と大好きな  
 コブクロの虹が歌えました。もう  
 歌手気分でした。最高に幸せで嬉  
 しかったです。本当に楽しかった  
 としてもいい経験が出来ました。

宮城 (宮城県)

所属 ( )  
名前 ( )  
齋藤 七恵



2010.08.28

地	元	で	の	共	同	連	大	会	、	楽	し	か	に	し
て	い	ま	し	た	。	シ	ニ	ポ	ジ	ウ	ム	で	は	
賃	金	に	つ	つ	て	興	味	深	く	聴	き	ま	し	た
が	、	も	う	少	し	突	っ	込	ん	だ	内	容	ま	で
し	て	欲	し	か	っ	た	で	す	。	分	科	会	の	は
川	畑	さ	ん	の	話	座	き	る	事	が	任	事	の	心
に	残	っ	た	言	葉	で	し	た	。					

(宮城)

郡連(宮)

所屬

(養り会・ニッ)

名前 (鳥海修子)



